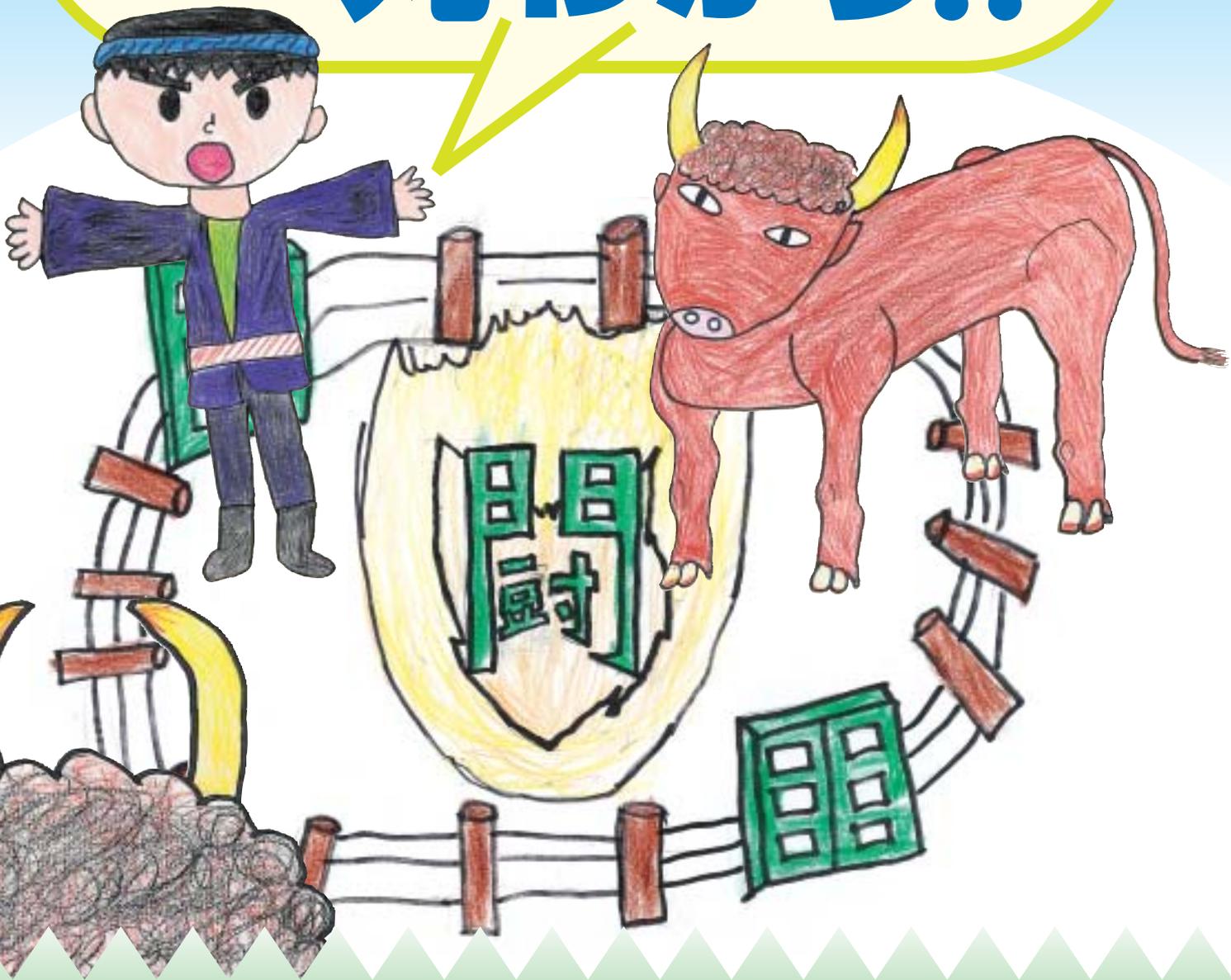


越後山千谷

牛の角突き

丸わかり!!



小千谷東山 牛の角突きを学ぶ会
(小千谷市立東山小学校内)



このパンフレットは、私たちが協力して作りました。小千谷闘牛について細かなところまで調べました。また、小千谷闘牛の勢子さんにもインタビューしました。

闘牛を知らない人でも、分かりやすく書いてあります。このパンフレットを見て、是非小千谷闘牛のことをたくさん知ってもらい、たくさんのお客さんに来てもらえるとうれしいです。

パンフレットの見所・学んだことや私たちの願い

私が特に見てもらいたいところは、「歴史」です。「Q&A」で分かりやすく作りました。私は、小千谷の角突きを全国の人が見に来てくれるようになってほしいと思います。東山小学校では牛太郎という牛を飼っています。他の牛にもがんばってほしいと思うけれど、やっぱり牛太郎に一番がんばってほしいです。このパンフレットを見て、小千谷闘牛のことをよく知ってもらい、見に来てくれる人が1人でも増えてほしいと思います。

私が見てもらいたいところは、「他の地域とのちがい」についてです。小千谷は、他の地域とちがい、勝ち負けをつけません。理由は、闘牛1頭1頭が力を付け、強くなってほしいと願っているからです。私は、他の地域より、牛を大切にしているなあと思いました。私は、パンフレットづくりを通して、小千谷の角突きのことがよく分かりました。これからもたくさんの人に、角突きを見てもらいたいです。

ぼくが見てもらいたいのは、「角突きのルール」についてです。それを見て、角突きに興味を持ってもらえたらうれしいです。ぼくは、このまま角突きが続いてほしいと思います。

ぼくは、牛について分からないところや、牛の種類など分からないところをこのパンフレットで確かめてほしいと思います。実況の監物さんが、どんな風の実況するのか、実際に聞いてほしいとも思います。これからも、牛の角突きがなくならないでほしいと願っています。

私が見てもらいたいのは、「小千谷の牛大公開」です。たくさんの方の牛について書いてあるので、角突きに来たときに「あの牛だな。」と分かってもらえるとうれしいです。私は、このパンフレットを通して、少しでも角突きについて知ってもらい、たくさんの方が角突きを訪れ、いつまでも続くといいなと思います。

ぼくは、「牛太郎の1日の様子」や「豆知識」、「好物」などを見てほしいです。パンフレットづくりは、完成まで、とても大変でした。ぼくは、この東山の牛の角突きがこのまま何十年、何百年間も現在のルール、方法、場所が変わらずいてほしいと思います。すごく強い角突き牛がでてくることも願っています。

このパンフレットの見所はたくさんありますが、特に「面綱について」と「監物さんについて」を見てほしいです。私は、このパンフレットづくりを通して、牛を飼っている人は愛情をこめて育てているんだということを学びました。私たちも、牛太郎に愛情をこめて育てなくちゃいけないなあと思いました。これからは、牛の角突きに参加して、小千谷の伝統をつなげていきたいです。

1番見てもらいたいのは、「他の地域とのちがい」です。小千谷の闘牛のことだけでなく他の地域とどのようにちがうのかがとてもよく分かります。私は、このパンフレットづくりを通して、小千谷の角突きを広げていきたい、そしてこれからも長く続いてほしいと思いました。

ぼくが見てもらいたいのは、角突きのルールや牛の種類が詳しく書いてあるところです。パンフレットづくりを通して、パンフレットはいろいろな人が見たり参考にしたりするので、詳しくまちがいがないようにすることが大事だと学びました。角突きは、これからも今のままのルールで、日本を代表する行事になってほしいです。

小千谷闘牛の歴史 Q&A

Q 小千谷闘牛はいつから始まったの？

A 600年～1000年前といわれているよ。資料からは江戸時代ともいわれているけど、残念ながらはっきりしないんだ。

Q 小千谷闘牛はなぜ始まったの？

A 岩手県南部地方から牛に鉄を背負わせて売りに来たんだよ。牛は歩くのがおそいので、鉄だけでなく、その牛も売って帰ったんだって。南部牛は寒さにも強くなんでも食べるため農作業に丁度いいと定着し、その牛で角突きを始めたといわれているよ！

Q 小千谷闘牛はいつ、国重要無形民俗文化財に指定されたの？

A 昭和53年だよ！（今から約30年前）

Q 小千谷の闘牛は強いの？

A 昭和55年1月15日、沖縄県で行われた『日本一決定戦』で、沖縄の牛に勝って日本一になったことがあるよ！その牛の名前は『新潟トガイ』だよ！

小千谷闘牛のルール・勢子について



せこ 勢子

小千谷闘牛は、1回の取り組みに20～30人の勢子がつきます。小千谷闘牛の勢子は、はっぴを着ています。勢子は、牛を応えんします。応えんするとき、勢子は、「ヨシターエイ、そらヨシター」と言って応えんしています。

牛がにげ出したり、ずっと牛が突いて離れなくなったりしたとき、後ろ足に縄をかけて、鼻をとります。

牛がにげた場合は、合図なしで綱かけが牛の足に綱をかけます。そして、綱を持って、牛の動きを止め、鼻綱をかけます。牛の動きを止める人が1人の時もありますが、危ないので2人くらいが安全なそうです。

ずっと牛が突いている場合は、勢子長が右手を上げ、綱かけ双方が手で合図しあい、一瞬のうちに牛の足をとってその動きを止め、鼻をとってつかまえます。ですが、鼻をとられたくない、牛はあごを引き、鼻を地面にこすりつけます。牛は、鼻が弱点なので鼻をとられてしまうと、暴れなくなります。しかし、長い角もあるのでもしかすると突かれてしまうかもしれません。勢子はまさに命がけで鼻をとります。

ルール

小千谷闘牛は、岩手県の闘牛と同じで勝ち負けはつけません。理由は、両方の牛を、強くさせるためです。

勝負のいいところで縄をかけてやめさせます。それは牛がまだ勝負をやりたいのに、「自分はまだやれるぞ！」とか「自分の方が強いぞ！」という自信がつくからです。そして、牛は強くなっていきます。

もし勝ち負けをつけていれば、負けた牛は、やる気をなくして次から闘わなくなります。また牛は、牛持ちにとって我が子同然ですから「ヘトヘトになるまで闘わせるようなつらいことをさせたくない」という思いもあり、昔から勝負は、つけません。

中には角突きの途中で逃げてしまう牛もいますが、基本的には引き分けにします。



小千谷闘牛

他の地域とのちがい

日本全国で、現在闘牛が行われている場所は、新潟県の小千谷市、長岡市(旧山古志村)の他に、沖縄県うるま市、島根県隠岐の島町、愛媛県宇和島市、鹿児島県徳之島(徳之島町・天城町・伊仙町)、岩手県久慈市の7ヶ所あります。各場所によって少しずつちがいがありました。



えさについて

小千谷市の牛は、とうもろこしや、わらなどを食べています。ですが、宇和島市の牛には、戦う前に、生卵、まむし酒、焼酎などを食べさせたり飲ませたりして、興ふんさせています。また、久慈市では、デントコーンや、ふすまなどを食べています。



牛太郎が食べているわら

ルール、闘い方について

小千谷市などでは、勝負をつけませんが、うるま市や徳之島、隠岐の島町、宇和島市の4ヶ所は、勝負をつけ、逃げると負けになります。

かけ声について

小千谷市では、「ヨシターエイ、そらヨシター」と言っていますが、うるま市や、徳之島では、「ヒィーヤ」や「アリヒャー」などと言っています。

入場料について

小千谷市では、一般席1000円、特別席2000円ですが、久慈市では、当日1000円前売り800円で、小学生以下無料です。その他は、大会の規模によって入場料が変わっているそうです。入場料が3000円もする大会もあります。

歴史について

宇和島市では、「17世紀ごろ、宇和海を漂流していたオランダの船を、漁民が救助してそのお礼としておくれた2頭の牛が、たまたま格闘したことにより始まった」と言われています。また、隠岐の島町では、「承久の乱に敗れた後鳥羽上皇をなぐさめるために始まった」と言われています。うるま市では、住民の娯楽として始められたそうです。

勢子の服そうについて

小千谷市では、そろいのはっぴを着ています。他の地域でもはっぴを着ているところが多いようです。うるま市では、赤白に分けた連合会指定はっぴなどを着ています。



闘牛の回数について

小千谷市では、年に7~8回ありますが、うるま市や徳之島では、年に20~40回ほど大会が行われています。その他の地域は、年に数回行われています。

牛太郎の日々

牛太郎のプロフィールや、牛の1日等をしょうかいします。

牛太郎プロフィール

誕生日	3月ごろ
性格	おだやか(?)
年齢	8才
出身地	岩手県
職業	角突き牛
毛の種類	カス毛
種類	南部牛
好きな食べ物	スギナやわら、とうもろこし等



平成12年3月	岩手県で誕生
平成14年4月	東山小学校入学 命名「牛太郎」
平成14年5月	牛の角突きデビュー
平成16年10月23日	中越大地震発生 小栗山の牛舎から長岡、 そして生まれ故郷の岩手県へ避難
平成17年4月	小千谷へ戻る
平成17年5月	牛太郎との再会式
平成17年6月	牛の角突き再開

隆一さんにインタビュー



ここでは、牛太郎のお世話をしている平沢隆一さんにお話をうかがいました。

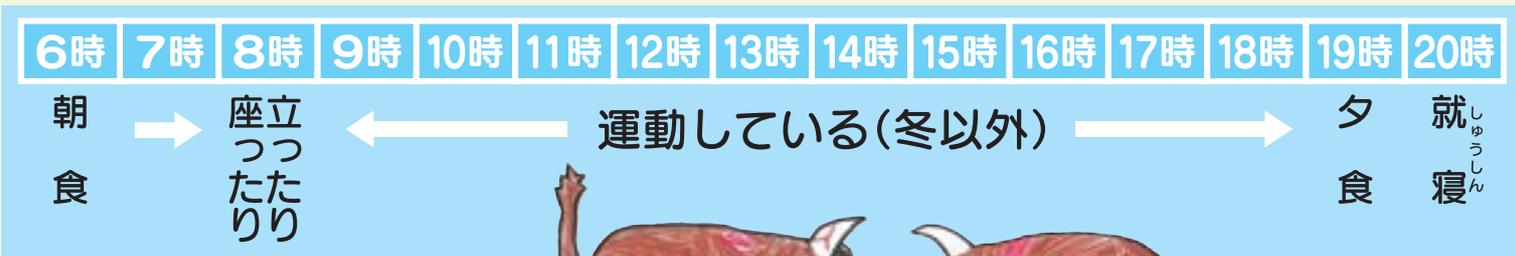
- Q. 牛を飼っていて苦労はありますか。
- A. 朝、5時30分くらいに起きたり、冬は寒くてつらい。
- Q. どうして牛を飼おうと思ったのですか。
- A. 牛が好きだから。
- Q. 今の牛太郎について昔と変わったところはありますか。
- A. 角がのびた。体が大きくなった。少しがまん強くなった。人間をこわがらなくなった。
- Q. 平野屋は、入場するときなぜつっこんでくるのですか。
- A. 早く戦いがしたいから。
- Q. 隆一さんは、勢子を何年続けていますか。
- A. 20年くらい。
- Q. 牛を初めて見たときどんな感じでしたか。
- A. 大きいし、引っ張ってみたいし、飼ってみたいなあと思った。
- Q. 平野屋の名前の由来は何ですか。
- A. 家の屋号。前にも平野屋という牛がいて、今の平野屋が四代目。
- Q. これからの闘牛はどうなってほしいと考えていますか。
- A. 牛が増えて、小学生の男子が勢子になってほしい。



平沢隆一さんと牛太郎

このように平沢さんからたくさんのお話を教えていただきました。特に、隆一さんは勢子を20年もやっていることにびっくりしました。あれから6年間、牛太郎も、体、角が成長しました。これからも闘牛が続いてほしいと思いました。

★★★ 牛太郎の一日 ★★★

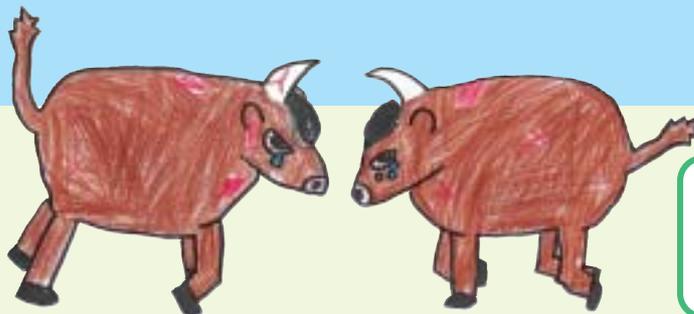


豆知識①

牛は、胃を4つもっています。

豆知識②

牛は、何でも食べます。



豆知識③

牛は、1日2食で、お昼ご飯はありません。



小千谷の

東山の闘牛場には、小千谷市内の闘牛が集まって、角

曙

朝日



新将

南荷頃



和泉龍

岩間木



和泉屋

岩間木



久蔵

朝日



牛太郎

東山小学校



紅丸

塩谷



剛力号

平沢町



隆政

塩谷



大魔神

南平高原



拓輝号

蘭木



竹沢号

東京



平幸黒富士

南荷頃



平野屋

岩間木



又甚

小栗山



丸板

蘭木



東山には、たくさんの闘牛がやってきます。20年度は、さらに新しい闘牛が導入され

牛大公開

突きをします。その時にやってくる牛を紹介します。

丑蔵

中山



大下

塩谷



角銀

小栗山



川端

南荷頃



山杉

浦柄



三代山金石

東山



順ノ下

南荷頃



清松

浦柄



忠左工門

中ノ沢



長寿号

蘭木



天神

中山



藤七

小栗山



六右工門

朝日



若梯

東大通



大和屋黒若

桜町



良虎4

新発田



る予定です。このパンフレットを見て東山の闘牛を覚えてもらえればうれしいです。



実況!

監物さんに…

インタビューするモオー

実況者「監物」さん 紹介コーナー

小千谷闘牛の実況をしている方は、監物さん。これから監物さんの実況の様子や、日常生活などインタビューした結果を紹介します。

名物実況者、監物さんが 誕生するまでに…



監物さんは、32～33才くらいから実況を始めました。もともと、錦鯉の競り人をされていたそうです。錦鯉の競り人をしていたのでお客さんがたくさんいる所で話すことに慣れていました。闘牛もたくさんお客さんがくるので闘牛の実況をしてくれと頼まれたそうです。

監物さんは、近所のおじいさんの所で闘牛のことを教えてもらったり勉強したりしました。まちがえて、怒られたけれどあきらめずに勉強をがんばったそうです。

日常生活

普段は、タクシーの運転手をされています。実況とは、まったくちがう一面です。

監物さんは、色々なことに挑戦しています。これからも、がんばってほしいです。



実況の様子

角突きが始まると、牛の様子を見て実況します。監物さんは、牛の闘う様子を見て牛をほめたり、励ましたりします。

監物さんの実況は、アナウンサーも顔負けです。次から次へ言葉をくりだします。聞いているだけで、牛の角突きに詳しくなることができます。牛の闘う様子だけではなく、監物さんの実況にも、ぜひ耳をかたむけてみてください。



監物さんは、たくさんの苦勞を乗り越えて、今の実況にたどり着きました。これからも小千谷闘牛の名物実況者としてがんばってほしいです。

知らなかった

おもづな

面綱のひみつ

化粧まわし

面綱は、すもうでいえば化粧まわしのような物です。越後闘牛では、3才になるとデビューできます。ですから牛は、やっと3才になって面綱をつけてもらえます。



面綱

洗濯

面綱は、よごれても洗たくできません。けれど、面綱は、布がボロボロになるまで何十年も使えます。面綱のよごれを見ると牛が、がんばっていることがよくわかりますね。



面綱と牛太郎

平沢 昇さん

東山で面綱を作れるのは、朝日に住む平沢昇さんしかいません。平沢さんはすごいですね。平沢さんしか作れる人がいないので、平沢さんは大変だと思います。面綱を作れる人が増えるとうれしいですね。

製作

面綱を作るには、わらと布が必要です。布は、6~7m使います。わらに布をまいて、面綱の形を作るのはとても大変そうですね。1個を作るのに2時間くらいかかるそうです。面綱1個作るのに5~6千円くらいかかるそうです。(ほとんど布の代金です。)重さは1kgくらいあります。

「こかけ」

ちなみに昔は面綱のことを「こかけ」と言っていたそうです。「こかけ」は、面綱とちがってわらだけで作っていたそうです。ですが、わらだけで作ったものではかっこうが悪いので布をまいて、面綱という名前にしたそうです。

勢子さんにインタビュー

知らなかった勢子さんの思い

小千谷闘牛の勢子さんをしている人にインタビューしました。



名前 佐藤 和弘さん
(小栗山)

- ① お嫁さんの家が牛を飼っていたから
- ② 長く続いてほしい
- ③ 新 将



名前 片岡 上生さん
(朝 日)

- ① 昔から家に牛がいたから
- ② お客さんがたくさんきて、もっと盛り上げてほしい
- ③ 曙



名前 廣井 哲也さん
(千 谷)

- ① 牛が好きだから
- ② 多くの人が勢子になってほしい
- ③ 牛は飼っていないが飼いたいと思っている



名前 星野 政邦さん
(塩 谷)

- ① 牛が好きだから
- ② もっとさかんになってほしい
- ③ 隆 政

『質問したこと』

- ① 勢子を始めたきっかけ
- ② これからの闘牛について
- ③ 持ち牛の名前



名前 間野 泉一さん
(岩間木)

- ① 花形の仕事だからカッコイイから
- ② 牛が増えてほしい (50頭くらい)
- ③ 和泉屋 和泉龍



名前 平沢 建治さん
(朝 日)

- ① 家で牛を飼っているから
- ② 続いてほしい、発展してほしい、牛が増えてほしい
- ③ 久 蔵

名前 広井 輝行さん
(蘭 木)

- ① 哲也さんの影響
- ② 楽しくがんばってきたい
- ③ 丸坂、長寿号、拓輝号



名前 平澤 健光さん
(東大通り)

- ① 父親が牛を飼っているから
- ② これからも続いてほしい
- ③ 健康力



名前 広井 吉之さん
(小栗山)

- ② 牛がもっと増えてほしい
- ③ 角 銀



名前 片岡 匡人さん
(朝 日)

- ① 家で牛を飼っているから
- ② 続いてほしい、若い人にがんばってほしい
- ③ 飼っていない



勢子さんたちは、親切にインタビューに答えてくださいました。勢子さんがおっしゃるように小千谷闘牛がもっと発展して、牛も増えて、いつまでも続いてほしいです。これからも勢子の仕事をがんばってもらいたいです。

◎ 闘牛を何回も見に来ている人に

Q. 応援している牛とその理由

- A. 牛太郎 ~ 東山小学校で飼っているから
秀 吉 ~ 自分もっている牛だから
若 桜 ~ 力強いから
新 将 ~ たたかうところがカッコいい

Q. 小千谷闘牛のいいところ

- A. 牛を大切にしているところ
牛が一生懸命頑張っているところ
角突きを取り組み方
勝ち負けをつけないところ
闘牛場が自然に囲まれているところ

Q. 他の地域の闘牛を見たことはあるか

- A. ある。(山古志、徳之島、沖縄、宇和島)

観客の人にインタビュー



東京大学教授 菅 豊さん

菅豊さんは東京大学の教授で民俗学や土地の歴史などを研究されています。

小千谷にいらっしゃったきっかけは、自身の民俗学の研究のためです。闘牛を観戦し、観客が盛り上がり熱心に応援している様子に感動し、小千谷の闘牛が大好きになりました。そして、平成19年からは自身も牛持ちになり、その牛は「天神」という名前でデビューしました。天神の名前は、牛を飼っていたと言われる天神様から由来しています。「天神が対戦しているときにお祈りすれば、テストなどに合格できる」、と菅さんは冗談混じりにおっしゃっていました。

菅さんは、「少しずつでいいから大きくなっていき度胸をつけてみんなからみとめられる『天神』になってほしい」という思いをお持ちです。また、兄弟でありライバルでもある「角銀」と対戦したいと願っています。

闘牛が行われる週末、菅さんはいつも1日前にいらっしゃって、市内のホテルか、篠田徳五郎さんの家(民宿弥ぜん)に泊まります。そして闘牛が終わると、気持ちのよい疲れを感じながら東京へ帰るそうです。

これからの小千谷闘牛には、闘牛を支えてくれる人(会計をする人、実況をする監物さん、勢子さん)などが減らないこと。多くの観光客や、地域のおじいさんやおばあさんたちがたくさん見に来て盛り上げてもらいたいということを願っています。みなさんも若手の天神、そして菅さんをぜひ応援してください。



菅さん 天神



ぼくは、菅さんにインタビューして、わざわざ東京から小千谷に通うほど小千谷闘牛を気に入っていることが分かりました。持ち牛の「天神」を大切に育てていて、天神に向かって話しかけている姿を見ると感動しました。これからも菅さんと天神にがんばってほしいです。

私たちは観客の人に小千谷闘牛のいいところをインタビューしました。

◎ 初めて闘牛を見に来た人に

Q. 牛を見てどうですか

A. おっきい
自然だなー

Q. この闘牛をどこで知ったか

A. ジャフ(=JAF・車)の本で



★まとめ、感想

インタビューの結果から、全国のいろんな所から小千谷闘牛を見に来てくれていることが分かりました。また、小千谷闘牛が、車の本にのっているというのを聞いて、びっくりしました。これからも、小千谷闘牛を全国の人に知ってもらいたいです。

小千谷闘牛場の位置



交通アクセス

- ◆自家用車の場合
関越道小千谷IC下車20分
- ◆シャトルバス
(毎日1往復運行 片道300円)
往路：サンプラザ前12:30 →
小千谷駅 → 小千谷闘牛場
復路：全取組終了後、
往路の逆ルートで運行



小千谷闘牛は、何百年も昔からやってきました。しかも、日本一になった牛がいたなんてすごいなあと思いました。



平成20年度 牛の角突き開催予定

5月 3日(土) 6月 1日(日) 7月 6日(日)
8月14日(木) 9月 7日(日) 10月 5日(日)
11月 2日(日)

※開催日が変更される場合があります。下記関係機関にお問い合わせください。

開催問い合わせ先

小千谷闘牛振興協議会

URL <http://www.tsunotsuki.com/index.html>

e-mail contact@tsunotsuki.com

北斗会

URL http://www.geocities.jp/ojiyatougyu_hokutokai/

e-mail tyshill@yahoo.co.jp

小千谷市商工観光課

電話 0258-83-3512 FAX 0258-83-0871

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/index.html>

e-mail kanko@city.ojiya.niigata.jp

このパンフレットの感想などがありましたら、下記までお送り下さい。

小千谷市立東山小学校 平成19年度6年生

住所 〒947-0211 新潟県小千谷市大字小栗山2357番地

電話 (0258) 59-3155 FAX (0258) 59-3151

URL http://www.city.ojiya.niigata.jp/east_mt/

e-mail higasiyamasho@city.ojiya.niigata.jp